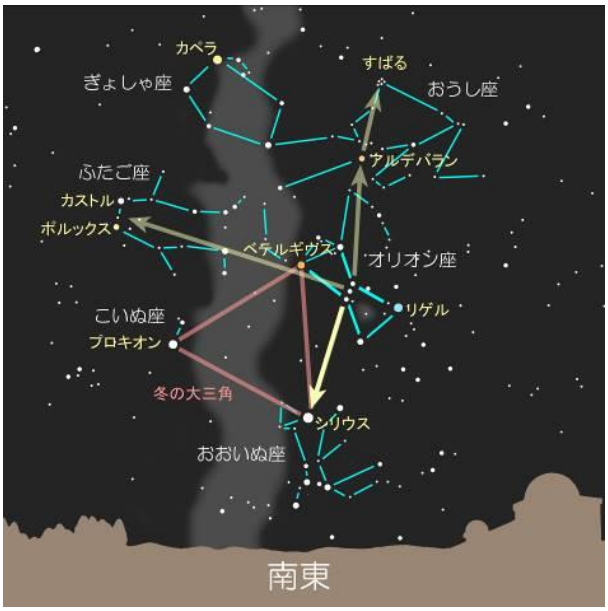
冬の星座

～ 明るい星がたくさん ～

冬は明るい星をたくさん見ることができます。その明るい星が目印となります。オリオン座を使って明るい星を目印にほかの星座を探してみましょう。

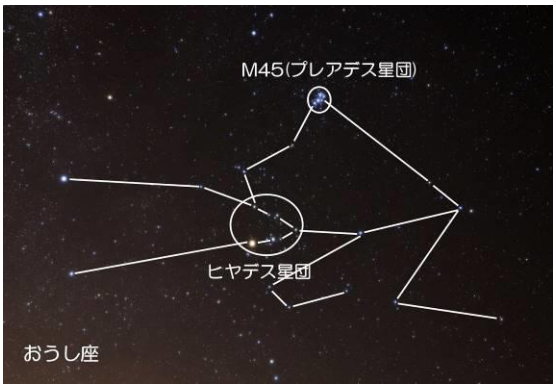
星座を探してみよう

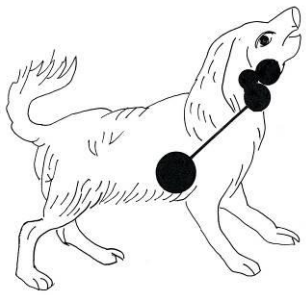


まずは、冬を代表する星座「オリオン座」を探してみましょう。目印は４つの星に囲まれた三ツ星です。オリオン座の三ツ星を結んで上にのばすと「おうし座」の「アルデバラン」を見つけることができます。おうし座は大きなＶの字が目印です。おうし座の右の角（つの）の星から五角形に結ぶと「ぎょしゃ座」です。三ツ星を下にのばすと「おおいぬ座」の「シリウス」を見つけることができます。オリオン座の「リゲル」と「ベテルギウス」を結んで伸ばすと、「ふたご座」の「ポルックス」を見つけることができます。ポルックスの隣にある明るい星は「カストル」です。

おうし座

おうし座は大きなＶの字が目じるしとなります。そのＶの字の中にオレンジ色に光る明るい星があります。この星が「アルデバラン」です。このおうし座には肉眼で見ることのできる星の集まり、「星団」が２つあります。１つ目は、小さなＶの字の所です。ここにあるのが「ヒヤデス星団」です。そしてもう１つ、背中のところにある星の集まり、ここにあるのが「プレアデス星団」。昔、日本では「すばる」と呼んでいました。星数は１３０個くらいありますが、実際に肉眼で見ることができるのは５，６個です。何個見えるのか、実際の星空で挑戦してみてください。



こいぬ座

明るく輝く「プロキオン」が目じるしです。プロキオンは「冬の大三角」の１つです。プロキオンのプロは「前」、キオンは「犬」、つまり犬の星（シリウス）の前にのぼる星という意味をもちます。小さな星座で、星は２つしかありません。この２つの星から、子犬を想像するのはちょっと難しいかもしれません。ギリシャ神話では、狩りの名手アクタイオンが連れていた猟犬とされています。